

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。
 下記の感染症については、登園のめやすを参考に、**かかりつけの医師の診断**に従い、登園届の提出をお願いしております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症（該当箇所に○印を付けてください）

○印	感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
	麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後から4日後まで	解熱後3日を経過してから
X	インフルエンザ ※別書類の提出となります →登園届（インフルエンザ用）	症状がある期間（発症前から24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い）	症状が出た後5日を経過し、かつ熱が下がった後3日経過するまで
	風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
	水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日から痂皮形成まで	全ての発疹が痂皮化してから
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が出現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	結核		医師より感染のおそれがないと認めるまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
	流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
	百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を修了するまで
	腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
	急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染のおそれがないと認めるまで
	溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
	マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱が24時間以内に出ておらず、激しい咳が治まっていること
	手足口病	手足に口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱が24時間以内に出ておらず、口の中の痛みが無く普段の食事がとれること
	伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
	ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状がある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	おう吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
	ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱が24時間以内に出ておらず、口の中の痛みが無く普段の食事がとれること
	RSウイルス感染症	咳やゼロゼロなどの呼吸器症状のある間	咳やゼロゼロなどの呼吸器症状が消失
	帯状疱疹	水泡を形成している間	全ての発疹がかさぶたになってから
	突発性発しん		解熱後1日以上経過し全身状態が良いこと（発しんがでていた間は、かなり機嫌が悪い）

登園届（保護者記入）

小平なみき保育園施設長殿

クラス _____ 園児氏名 _____

病名「 _____ 」と診断され、

年 _____ 月 _____ 日 医療機関名「 _____ 」において

病状が回復し、集団生活に支障がないと医師より許可が出ましたので登園いたします。

保護者名 _____ 印 _____